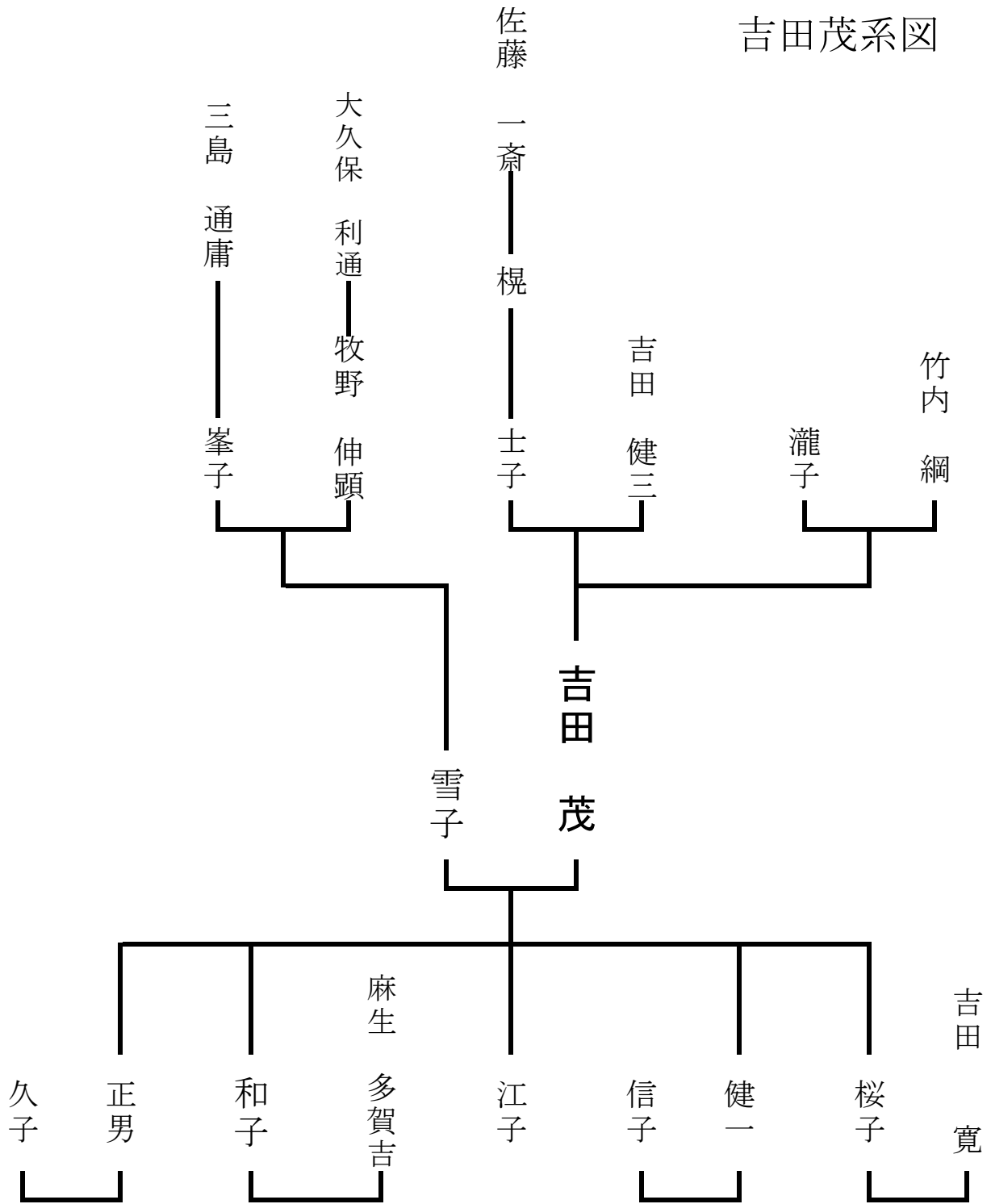


吉田茂系図



吉田茂年譜

明治十一年(一八七八)	九月二十二日		高知の自由党志士竹内綱の五男として東京に生まれる
十四年(一八八二)	八月	三歳	横浜の貿易商吉田健三の養子となる
三十四年(一九〇二)	九月	二十三歳	学習院大学科に入学
三十七年(一九〇四)	九月	二十六歳	東京帝国大学法科大学政治学科に編入
三十九年(一九〇六)	七月	二十八歳	東京帝国大学法科大学政治学科を卒業
同年	九月		外交官及び領事官試験に合格、外務省入省
同年	十一月		領事官補に任ぜられる
四十年(一九〇七)	二月	二十九歳	奉天在勤となる
四十一年(一九〇八)	十一月	三十歳	ロンドン在勤となる
四十二年(一九〇九)	三月	三十一歳	牧野伸顕(大久保利通次男)の長女・雪子と結婚
同年	十二月		大使館三等書記官・イタリア在勤となる

大正元年(一九一二)	八月	三十四歳	安東領事となる
六年(一九一七)	七月	三十九歳	外務省文書課長心得となる
七年(一九一八)	二月	四十歳	濟南領事となる
同年	十二月		牧野伸顕全権の随員としてパリ平和會議に向かう
九年(一九二〇)	五月	四十二歳	大使館一等書記官・イギリス在勤となる
十一年(一九二二)	三月	四十四歳	天津総領事となる
十四年(一九二五)	十月	四十七歳	奉天総領事となる
昭和三年(一九二八)	七月	五十歳	外務次官となる
五年(一九三〇)	十二月	五十二歳	駐イタリア大使となる
七年(一九三二)	十一月	五十四歳	待命
九年(一九三四)	十月	五十六歳	外務査察使として欧米各国に四ヶ月間出張
十年(一九三五)	十一月	五十七歳	退官

十一年(一九三六)	三月	五十八歳	広田弘毅内閣組閣の参謀となり外相候補とされたが軍部に阻止される
同年	四月		駐イギリス大使となる
十四年(一九三九)	三月	六十一歳	依願免本官
十六年(一九四一)	十月	六十三歳	雪子夫人死去
二十年(一九四五)	四月	六十七歳	憲兵隊に拘置される(五月釈放)
同年	八月		終戦
同年	九月		東久邇宮内閣の外相となる
同年	十月		幣原喜重郎内閣の外相に再任
二十一年(一九四六)	五月	六十八歳	自由党総裁就任を受諾 第一次吉田内閣成立
同年	十一月		日本国憲法公布
二十二年(一九四七)	五月	六十九歳	内閣総辞職 [この間、片山内閣・芦田内閣]
二十三年(一九四八)	十月	七十歳	第二次吉田内閣成立

昭和二十四年(一九四九)	二月	七十一歳	第三次吉田内閣成立
二十六年(一九五二)	九月	七十三歳	サンフランシスコ対日講和会議開催 対日平和条約調印 日米安全保障条約調印
二十七年(一九五二)	十月	七十四歳	第四次吉田内閣成立
二十八年(一九五三)	五月	七十五歳	第五次吉田内閣成立
二十九年(一九五四)	十二月	七十六歳	内閣総辞職
三十五年(一九六〇)	四月	八十二歳	社団法人日米協会会長となる
同年	五月		日米修好通商百年記念親善使節団团长として訪米
三十九年(一九六四)	五月	八十六歳	大勲位菊花大綬章を授与される
同年	九月		アジア調査会会長となる
四十年(一九六五)	十月	八十七歳	鳩杖を賜わる
四十二年(一九六七)	十月二十日	八十九歳	死去
同年	十月三十一日		従一位に叙せられ大勲位菊花章頸飾を授与される 国葬